



ささぐちCS通信 No.7



コミュニティスクール

5月9日(木)「令和6年度第1回学校運営協議会(CS・コミュニティスクール)」が開催されました。

令和6年6月20日発行
新潟市立笹口小学校
CS事務員

学校運営協議会(CS)の役割とは？

現在、学校だけが子どもたちを教育するのではなく、地域と共に子どもたちを育てることが大切であると言われていています。そのために

- ① 学校運営の基本方針を承認していただき、それを地域に広めていただく。
- ② 学校の様々な課題の改善策を、学校と共に考えていただく。
- ③ 教職員の任用について意見をいただく。

等を目的として、学校と地域とがWIN&WINの関係を築き、共に活性化を図っていきます。

今回の会議は・・・

《1》全クラスの授業参観

各階ごとに授業の説明を受け、その後は自由に参観していただきました。

・廊下、教室の区別がなく開放的である。

・CSメンバーが参観しても萎縮することなく順応性がある。

・みんなの顔が見えるコの字に机が配置され、授業しているのが良かった。

《2》委嘱状授与・自己紹介



会長	ほっとハウス笹口副会長	
副会長	笹口校区 コミュニティ協議会会長	
委員	ほっとハウス笹口 チーフコーディネーター	
委員	新潟子ども保育専門学校	
委員	(株)ソルメディエージ 代表取締役	
委員	NIIGATA 光のページェント実行委員長	
委員	シェフパティシエ専門学校 副校長	
委員	国際ペットワールド専門学校 副校長	
委員	開志専門職大学事業創造学部 講師	
委員	笹口小 PTA 創夢	
委員	笹口小 PTA 創夢	
委員	校長	
委員	教頭	
委員	教務主任	
CS事務員	地域教育コーディネーター	

《3》学校の取り組み説明

【今年度の教育ビジョン】

「個性輝く、みんなが誇りに思える学校」を目指します。そのためには多様性の尊重、愛校心、郷土愛を育てることを大切にしていきます。

＜重点的取り組み＞

- ・指導観の転換（先生主体から子どもたち主体へ）
- ・ICTの活用
- ・クラス会議
- ・教科担任制
- ・地域人材、地域素材を生かした活動の推進
- ・学校の取組の積極的発信（笹口小学校のHP→ブログへGO 毎日学校の状況を更新）



《4》意見交換 ※CS委員のみなさんから、主に次のようなご意見がありました。

ほっとハウス笹口

子どもたちが遊びに来てくれることでスタッフも明るく元気になれる。たくさん活用して欲しい。

地域モデル

子どもたちが笹口を誇りに思い、この地域にまた帰って来たいと思えるような地域作りを目指したい。

光のページェント

新潟駅バスターミナル開通式典に笹口小の子どもたちが参加し、光のページェントをアピール出来た。

子どもたちの主体性

授業内で算数の問題を解く時間を子どもたちに決めてもらっていた。

子どもたちの個性

どんな意見も、「そういう考えもあるね!」と受け入れてもらえる。「答えは一つじゃない!!」という雰囲気がある。

チャレンジ学級

学年別ではなく個性に合わせたクラス編成をしているところがとても良いと思う。

iPad

算数の授業でiPadを使って、体を動かしながらやっている。学ぶことを楽しんでいる。

